

全会一致で決算

平成24年度に行った主な事業

子育て支援拠点施設整備事業	6億3155万円
再生可能エネルギー導入事業	1879万円
農業体質強化基盤整備促進事業	6730万円
道路改良事業（赤坂深山線）	1億 840万円
道路改良事業（浅立沼田岩崎線）	5060万円
消防ポンプ自動車購入事業	1004万円
防火水槽新設事業	1981万円
蚕桑小学校暖房設備整備事業	2198万円
学校再編整備事業	3029万円
東陽の里グラウンド改修事業	1億5565万円

※万円未満は端数を整理しています。



人工芝に生まれ変わった東陽の里グラウンド

どうなる？ まちの財政力

区分・年度	24年度	23年度	22年度	説明
財政力指数	0.244	0.247	0.257	高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。
経常収支比率	92.5	90.3	88.9	低いほど独自の政策のために使えるお金が多い。
実質公債費比率	13.5	15.3	17.0	収入に対する負債返済の割合。

監査意見書

自主財源の安定確保の観点から、納期限内納付の推進、滞納額の削減について、個々の状況に応じた適切な納付指導、滞納処分等を行うことにより、各種債権の収納率向上に向けた対策を全庁的な合意形成をはかりながら推進されたい。

平成24年度の主要事業として、子育て支援拠点

施設整備事業、中学校統合に向けての学校再編整備事業、東陽の里グラウンド改修事業等が順調に執行されたことは評価に値する。財政の健全性を保ちつつ「笑顔かがやき」心かよう「美しいまち」の実現に向け、これまで以上に、町民への恒常的な行政サービスの提供と最少の経費で最大の効果を上げる行財政運営を推進されたい。

町民と行政のそれぞれが担うべき本質的な役割に従って「共創のまちづくり」の推進に努め、町政運営の透明性や町民への説明責任の向上をはかりながら、職員の誠意と活力により更なる町政の発展と住民福祉の増進に取り組まされたい。

代表監査委員 小形 安弘
監査委員 守谷 丹吾